



2019年10月23日

中部電力株式会社

NTTコミュニケーションズ株式会社

NTT Com の IoT プラットフォーム「Things Cloud[®]」を利用し

中部電力が設備保全業務の高度化・効率化の取り組みを加速

～最新の IoT 技術を用いて設備に関するさまざまなデータを見える化～

中部電力株式会社（所在地：愛知県名古屋市、代表取締役社長：勝野 哲、以下「中部電力」）と NTT コミュニケーションズ株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：庄司 哲也、以下「NTT Com」）は、中部電力の設備保全業務の高度化・効率化に向けた IoT プラットフォームとして NTT Com の「Things Cloud[®]」^{※1}を採用することについて、本日、合意しました。

中部電力は、保有する電力設備などを効率的に運用するため、水位、温湿度、振動などの運転状態に関するさまざまなデータを、設備に取り付けたセンサーなどの IoT 機器を用いてデジタル化し、収集する取り組みを進めています。

今回、NTT Com の IoT プラットフォーム「Things Cloud[®]」の導入により、IoT 機器を一元的に管理し、そこから収集するデータをグラフなどで見える化することが可能となります。これにより、従来、作業員が現地へ赴き直接確認する必要があった設備に関するさまざまなデータを、容易に遠隔監視することが可能となります。さらに、収集したデータの分析も行うことができるため、部品の故障予知など設備運用の最適化の実現が期待できます。

中部電力は、今後も最先端の ICT 技術を活用し、電力設備の運用のさらなる高度化・効率化を目指していきます。

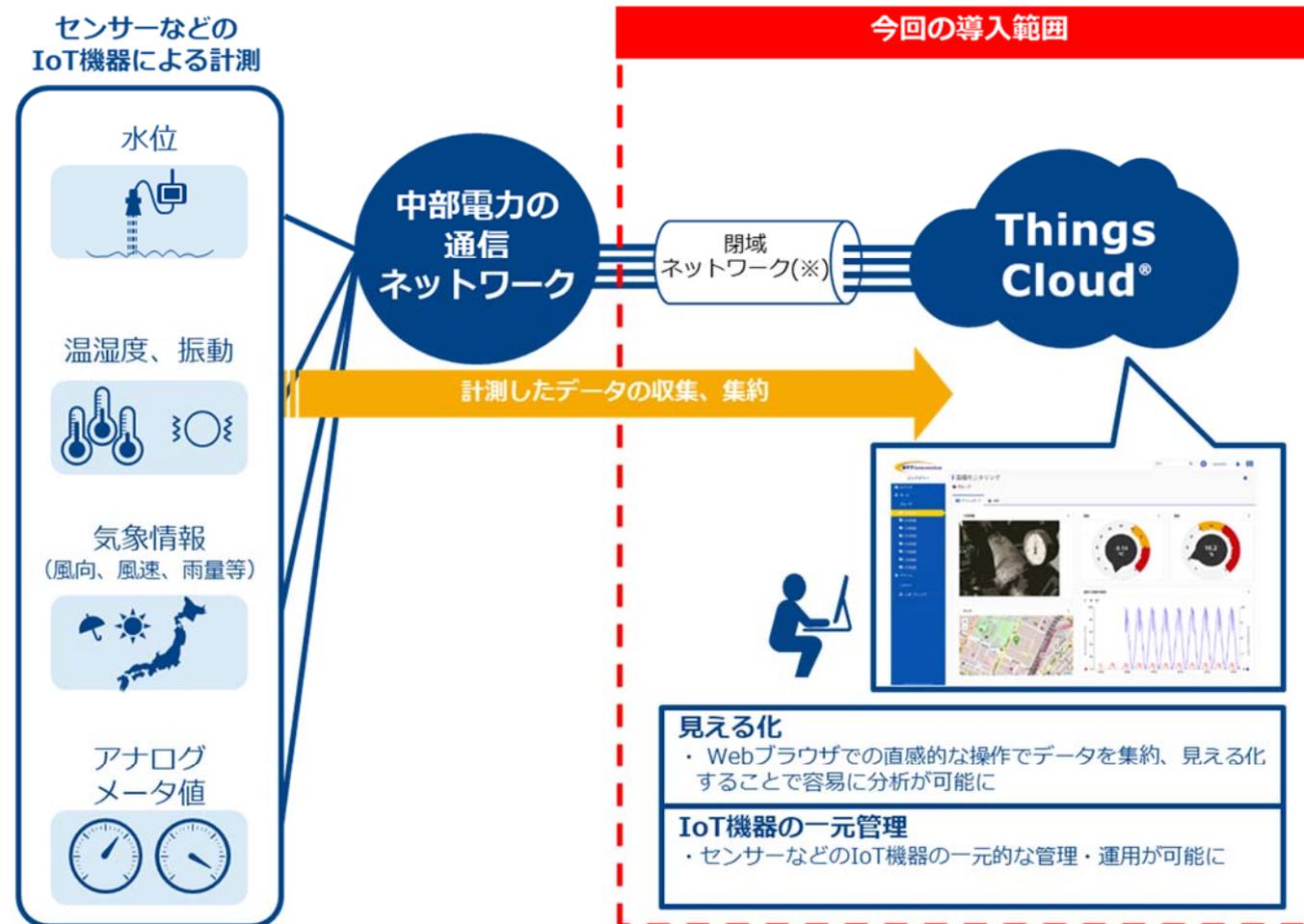
NTT Com は、今回提供する「Things Cloud[®]」を含めたデータ利活用プラットフォーム^{※2}の展開により、企業の生産性向上に貢献するとともに、社会的課題の解決に取り組んでいきます。

※1: 「Things Cloud[®]」とは、NTT Com が提供する IoT プラットフォームの名称です。データ収集、可視化、分析、管理など IoT の導入に必要な機能・プロセスをノンプログラミングで簡単・短期間に実現できる機能やテンプレートを提供します。(https://www.ntt.com/iot/)

※2: NTT Com が提供するデータ利活用に必要なすべての機能をワンストップで利用可能なプラットフォームです。詳しくは、下記 Web サイトをご参照ください。
(https://www.ntt.com/business/sdpf/)

別紙：「Things Cloud[®]」を利用した中部電力の設備保全業務の高度化・効率化の取り組みイメージ

「Things Cloud®」を利用した中部電力の設備保全業務の高度化・効率化の取り組みイメージ



※インターネットに直接接続しない
高い安全性が確保されたネットワーク